

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3290800014		
法人名	社会福祉法人こもれび福祉会		
事業所名	グループホームこもれびの郷	桜ホーム	
所在地	島根県益田市横田町710		
自己評価作成日	令和4年9月30日	評価結果市町村受理日	令和5年2月9日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 2/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=32

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPOLまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白濁本町43番地		
訪問調査日	令和4年12月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1日が時間に追われず、自然な時の流れで生活が送れるよう、ゆったりとした支援を行っている。利用者様お一人お一人の想いに寄り添い、多くの笑顔がこぼれるような環境づくりに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

職員、利用者はお互いに秩序を保ちながら、103歳の利用者を筆頭に大家族の様に家庭的な雰囲気の中で暮らしている。利用者の趣味、嗜好、生活歴を把握しながら一人ひとりに応じた関わりを行い、利用者が自信をもって笑顔で暮らせる様に支援している。地域に於いてはならない事業所として自治会と協力関係を築き、コロナ禍で運営推進会議は書面開催をしているが委員から貴重な意見を得ている。現在、面会制限がある為、画用紙に1年間の行事の写真とコメントを付け加えた大きなカードを作り家族に送付して「こもれびの郷」での利用者の暮らしぶりを伝え家族からも喜ばれている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	折に触れて、管理者は理念について実践できている場面の事例を挙げて職員と話している。	常に理念を意識した話し合いを行い、利用者一人ひとりの思いにしっかりと耳を傾け笑顔で過ごす事が出来る様に実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍の中、外出が出来ない現状があり、交流が難しい状況が続いている。	職員が施設周辺の美化、清掃等を行い町内から感謝されている。事業所の侵入口での車の方向転換等快く受け入れ、良い関係を築き交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎月発行のこもれび新聞にて、入居者の皆様の日常の様子を紹介し、認知症についての知識やご理解に繋がるよう努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の中、開催は難しい為書面にて報告を行い、ご意見を頂いている。頂いたご意見は職員にも開示し日々の支援に繋がるよう努めている。	書面報告形式で状況を伝えている。「利用者第一の姿勢で取り組んでいる」「さらに避難体制の構築、確認に努めて欲しい」等、各委員から意見や助言を貰い運営に反映させている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	様々な事で疑問に思った時は、市町村担当者に電話で問い合わせを行っている。	日頃から協力関係を築き連携して取り組んでいる。コロナワクチン接種対応や感染者、濃厚接触者が発生した場合の対応策等相談し助言を受けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	拘束をしない取り組みとして、日中玄関の施錠はせず自由な出入りが出来る様にしていたがコロナ予防の対策として玄関ドアに直接手を触れないよう自動ドアにして対応している(出る時にはボタンを押さないと開かない)	身体拘束廃止適正対策委員会、毎月のスタッフ会議で話し合っている。自分の言葉やケアの振り返りを行い、反省・確認をしながら身体拘束しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年に4回身体拘束の委員会を行い、禁止対策となる具体的な行為は行っていないか、また依頼した行為はないか検討し虐待防止に努めている。施設内研修の中でも身体拘束について学び直したり自らを振り返る機会を作っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	毎年、権利擁護の研修に参加している。研修参加者は、介護現場にて実習を行い、そうする事で他の職員も権利擁護について理解を深めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には利用者様のこれまでの生活の様子をご家族様から聞き取りを行っている。入所に際しての不安な思いはしっかりと伺って、不安な思いが解消できるようしっかりとご説明した上で手続きを進めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に1度、家族会を開催し、話し合いの場を設けていたが、コロナ禍の状況の中、開催出来ていない。	電話、新聞、介護計画作成時等で利用者の様子を報告し意見、要望を聞いている。意見はすぐに検討しサービスや運営に反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のケア会議や、日々のミーティングの中で職員の意見に耳を傾け、しっかりと検討した上で運営に活かせるよう努めている。	管理者は職員が働きやすい環境で利用者のケアが出来る様に配慮している。スタッフ会議では活発に意見が出され備品の整備やサービスの改善につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	ゆとりのあるシフト調整を心掛けている。又、年3回の賞与では個々の日頃の努力や実績を評価し、人事考課システムを採用する事でやりがいや向上心に繋げている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人ひとりの力量を把握した上で研修への参加の検討、促しを行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	年に数回、同業者との交流会に参加し、勉強会や情報交換を行っていたが、コロナ禍の中、開催が中止となっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時に聞き取った情報を基に経過を観察しながら、再アセスメントを行い、安心できる環境づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時にはご家族様と面談し、不安な思いにしっかりと耳を傾けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時の情報を基に、仮プランを作成し、ご本人様の様子を更に把握した上で本プラン作成し、ご要望に沿った支援を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で職員も一緒に作業を行い、出来る事、出来ない事の見極めを行い、無理強いせずに自然に生活が送れるよう支援しながら関係性も築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診や入院の付き添い、外出など、ご家族様にお問い合わせの事もありましたが、コロナ禍の中、そういった機会はほとんど無い状態です。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所されても出来るだけこれまでの関係性が継続できるようにとケアプランの中にも取り入れて支援しているが、コロナ禍の為難しい状態です。	家族との関係を大事にし、電話やZoomを活用した面会、ビデオ撮影した動画の送信、写真送付、支払いで来訪時の窓越し面会の実施等、良いと思われる事、出来る事を行い支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しみ事を通じて利用者様同士関りが持てる様支援している。関わる事が難しい時には職員が橋渡しを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されましても待ちなどで出会った時には声を掛けて下さいます。その後の様子もお知らせ下さり、良い関係は続いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自分の思いを伝える事が出来る人は少数です。日々の会話、表情、様子から思いを汲み取りながら支援に努めている。	表情や仕草、1対1で関わる時間を大切に信頼関係を築き思いを汲み取り、情報は伝達簿や職場会議で共有している。コミュニケーションの取りにくい人には筆談やジェスチャーで昔の話を聞き出し参考になっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の関りの中で、今までの生活の様子を聞き取ったり、ご家族様から情報を得て、こもれびでの生活に活かせるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	共に日常生活を送る中、様子をしっかりと観察し、現状の把握に努めている。健康観察も毎日行い、健康状態の把握にも努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議では、職員全員から、姿見シートを記入してもらい、新しい課題の検討・モニタリングを行い、ご家族様にも様子をお伝えし、ご意見を頂いてケアプランを作成している。	利用者・家族の要望、意見を聞き、ケア会議で話し合い、一人ひとりに合わせた介護計画を作成している。趣味や出来る事を盛り込み利用者が自信をもって生活出来る様に支援している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに基づいた支援を記録に記し、変化や気づき等情報を共有すべき事は連絡ノートに記録する。また、それらを基にモニタリングを行いケアプラン見直しに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	様々なニーズに対応できるように柔軟な計画を作成するよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナウイルスの感染が拡大し、外部との関りが持てない状況が続いている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	常に本人、ご家族の希望を大切に下さっている。毎月の往診時には、体調だけでなく、生活の様子もお伝えしている。緊急時にも相談に応じて下さり、必要に応じて専門医への紹介や救急外来受診の取次も行っておこなっている。	今迄と同じかかりつけ医や協力医の受診を支援している。4週間に1回、かかりつけ医の訪問診療があり、状況に応じて専門医を受診している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	変化や気づきは看護職員に伝えてどの様に対応したらよいか助言を頂いている。往診時には同席して頂いて医師との取次役を担って頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入所時には、施設側の意向を伝えた上で早期の退院が出来る様お願いしている。相談員を通して、状況の把握を行いながら、ご家族様も含めて協議を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所の契約の際に終末についての取り組みをご説明した上で、ご好意を確認しています。重度化した場合等にはかかりつけ医とご家族と施設とでカンファレンスを行い、再度、ご家族のご意向を確認しながらご家族様の思いに沿った対応を行っている。	今年度2人の看取り支援を行った。「最期は住み慣れた施設で迎えたい」との利用者の思いを汲み取り、遠方や病弱で来訪出来ない家族とも連絡を取りながら最大限の支援を行った。家族から感謝され良い終末期の支援が出来た。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	過去においてAEDの訓練は行った事はある。今後は定期的に行い、実践力を身に付ける必要があると考えます。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、夜間火災想定、自然災害の避難訓練を行っている。重度化に伴い、誘導方法が難しくなっている事もあり、避難訓練はかせない。	利用者参加で訓練を実施し車椅子利用者は毛布を利用した訓練をした。職員は近隣に住むスタッフが多く、早期行動が出来る様になっている。消火器、備蓄品の確認も行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者はどの様に感じられるだろうか、当事者意識で考え、羞恥心や自尊心に配慮しながら声掛けや対応を行っている。	利用者のペースでの生活を支援し、人生の先輩として敬い、一人ひとりに応じた対応を心掛けている。利用者の行動や状況を多面的にとらえる事を心掛け、利用者の立場に立って対応する事に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	様々な場面で自己決定して頂ける様支援している。自分の思いを伝える事が困難な方には、選択して頂ける方法を用意したり、日々の生活の様子から察して支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の情緒や体調に配慮しながら関り、何がしたいのか察しながら生活を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で選んで服を着られる方もおられます。選ぶのが難しい方には職員が好みに合わせて何着か用意し、その中から選んで頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の食べたい物を把握し、季節の物を取り入れながら職員が献立を立てている。野菜の皮むきやもやしのヒゲ取り、盛り付けなど出来る力を発揮して関わって頂いている。	好物やバランス、彩りに配慮し、地元の旬の食材を使い職員が毎週献立作成している。利用者は下準備や盛り付け等出来る事を行っている。見た目が気になる利用者には切り方を聞きながら食事を提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	言葉は出す事が出来るが会話が成立しにくい利用者に対しても一人ひとりの思いにしっかりと心も寄りそわせ笑顔で過ごす事が出来る様に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、実施している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄の間隔をしっかりと把握すると共に、表情や仕草などからも察知して、トイレでの排泄となる様、声掛け誘導を行っている。	出来るだけトイレで排泄出来る様に支援し、排泄パターンを把握して支援する事で紙パンツから布パンツやリハビリパンツに切り替えられた人もいる。家族の要望から排泄用品のコスト面にも配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘は、体調や情緒に大きく影響を及ぼす為、排便チェックを用いて、排便状況の把握に努め、水分摂取の促しや軽運動を行う事で便秘予防を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本的には3日に1度のペースで入浴支援しているが、「毎日入浴したい」「今日入りたい」などの希望があればその時のお気持ちに合わせて支援している。	一番風呂や泡立ちやすいタオルを使用する等、入浴が楽しめる様に支援している。回数や急な希望にも柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調把握、様子観察を行い、日中でも時には居室で休まれるよう支援している。また、夜間の安眠に繋がるよう、体操や散歩などの適度な運動を勧めたり、日光浴も行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬の目的、副作用、用法、用量は職員間で共通理解し、薬の飲み方も一人一人に合わせて工夫して服薬支援している。様子はしっかりと観察し、変化が見られた時には医師に相談をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の関りの中から今ある力、好みをしっかりと把握し、職員間で共通理解し、個別に支援している(一人一人に合わせた対応)		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の状況の中、外出支援は難しい状態ですが、気分転換としてご自宅や慣れしたしんだ場所へドライブに出掛けている。	コロナ感染者が減少した時は好みの洋服を一緒に買いに出掛けたり家族と髪染めに出掛けた。下車はせず、利用者に行きたい所を聞き市内の有名スポットや利用者の自宅付近にドライブに出掛けている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金についてはお預かりしていない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望があれば電話している。2ヶ月に一度文の日には、日頃の様子をプリントした葉書に近況や思いを記してご家族宛に送付している。ご自分で書けない方は職員が代筆している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとに共有スペースの壁にディスプレイをしている。ディスプレイは皆様にも手伝って頂いている。ほっこりとした空間作りとなるように努めている。	花が好きな利用者に定期的に職員が自宅に咲いている花を持って来ている。利用者に向けて貰った季節の花やクリスマスの飾り物、正月飾りの用意等、季節感溢れる空間づくりをしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	たまりに設置しているソファーでは、共有空間から少し離れてひと息つける場所となっている。とくにはたまりに数人が集まり、コミュニケーションされる事もある。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、ご自宅で使い慣れている、タンス等を使用して頂いている。また、ご家族の写真やお手紙等を掲示してほっとして頂けるような空間作りをしている。	経本を持参し般若心経を唱えたり、趣味の道具や自分で塗った絵を飾る等、利用者に合わせて環境づくりを行い安心して過ごす事が出来る様に配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人お一人の出来る事の見極めや他者との関係性も把握した上で、ご自分で出来る作業、皆さんと協力して出来る作業をご本人様の意を確認しながら支援している。		